

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員【事業者・団体等】
令和7年度の実績及び令和8年度の実績計画について

高知県安全安心まちづくり推進会議構成員(事業者・団体等)の令和7年度の取組実績及び令和8年度の取組計画

注：重点項目欄(1 地域で子どもや高齢者などを事故や事件から守ろう／2 特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害を防ごう／3 鍵かけ運動を進めよう／4 その他)

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
1	公益社団法人 高知県防犯協会 (正会員16団体・賛助会員 115団体)		防犯思想の普及と犯罪防止活動	①「安全安心な街づくりの日 高知民のつどい」の開催 ②令和7年全国地域安全運動 ③薬物乱用防止活動 ④子どもの見守り活動 ⑤広報啓発活動の推進 ⑥自転車盗など街頭犯罪の防止対策と被害回復の促進 ⑦金融機関等を対象とする犯罪の抑止対策 ⑧防犯機能付き電話機器の普及 ⑨その他犯罪被害防止活動	①ボランティア等100名が参加した「安全安心なまちづくり高知県民のつどい」において防犯功労者等の表彰を行った。 ②新聞、ポスターを活動して全国地域安全運動を県民に広報し、各地区の活動の支援を通じて、関係機関等の連携強化と防犯意識の普及促進を図った。 ③薬物乱用防止パレードや地域フェアにおいて薬物乱用等防止の啓発活動を行った。 ④通称「三もく活動の日」に地域ボランティアと協働で小学校の登校時間帯において子どもの見守り活動を実施した。 ⑤高知市街地において、民間企業、学生ボランティアと特殊詐欺を含む各種犯罪被害防止広報啓発活動を行った。 ⑥迅速な自転車の防犯登録に努めたほか、自転車防犯登録情報のスマホへのデータ化を推奨して、盗難被害発生時の届出遅延の防止対策を行った。 ⑥少年警察ボランティア、学生ボランティアと自転車の鍵掛けキャンペーンを行った。 ⑦金融機関や小学校等を対象とした強盗・不審者対応訓練と防犯資器材の無償配付と防犯指導を実施した。 ⑧補助金事業により防犯機能付き電話機器の普及促進に努めた。 ⑨地域住民の懇談会等に参加して特殊詐欺被害の現状と対策について説明した。	○防犯ボランティアの高齢化○参加者・担い手の確保と継続性○防犯意識の浸透度○新たな犯罪手口の浸透度と対応不足	①地域安全活動の推進 全国地域安全運動、薬物乱用防止活動、子どもや高齢者・女性を犯罪から守る活動等 ②自転車盗の被害防止対策と被害回復の促進 迅速な自転車の防犯登録、自転車盗難被害防止対策 ③古物営業の適法適正な業務指導 法令遵守等の指導・助言、消費者保護と犯罪防止 ④相談と助言 各種犯罪被害防止に関する相談の受理と警察等との連携 ⑤各種犯罪被害防止活動 女性や子どもを狙った性犯罪等に関する情報発信や対応訓練 ⑥広報啓発活動の推進
		1	少年の非行防止と健全育成活動	①「ふれあい少年サポート事業」の推進 ②防犯講話	①県下3地区の「ふれあい少年サポート事業」の開催支援と参加により少年の健全育成を図った。 ②地区少年警察ボランティア協会研修会、少年指導委員研修会において「子どもの見守りと防犯ボランティアの活動」「高知県風俗環境浄化協会と少年指導委員の活動の関係」について講話した。	○自転車盗難被害防止への意識の希薄	①街頭補導等の活動 各地区での街頭補導や見守り活動 ②「ふれあい少年サポート事業」の推進 ③自転車盗難被害防止モデル校の支援 「鍵かけ運動」や盗難被害防止グッズの配付等
		1 4	風俗環境浄化活動	①適法健全な風俗営業の指導啓発	①風俗営業における「18歳未満の客接待」やたばこ・酒類の提供等の禁止行為及び「18歳未満の立入禁止表示」等の遵守事項厳守にかかる啓発 ①少年指導委員の立ち入りに同行し、風俗営業者に対して適法健全な営業の指導を行った。 ①関係機関とともに高知市帯屋町アーケードにおいて「ぼったくり防止」パレード等の啓発活動を行った。	○人的・時間的資源の不足	①適法健全な風俗営業の指導啓発 苦情の処理、暴力団排除 ②禁止行為防止及び遵守事項厳守の啓発 少年指導委員の支援、禁止行為と遵守事項の指導啓発等
		1 2 3 4	防犯団体等が行う防犯活動に対する援助	①各地区の防犯団体等に犯罪被害防止にかかる資器材等の配付 ②タウンポリスや学生等の防犯ボランティアの活動の活性化 ③青色回転灯等装備車両活動の支援	①各地区(町)地域安全協議会や防犯団体等が行う各種防犯活動に関して、防犯グッズ、「子どもを守る安全対策」資料などを配付した。 ①各地区(町)地域安全協議会に「子ども見守りマニュアル」「ながら防犯実践マニュアル」「防犯手帳」「新時代のサイバー犯罪徹底攻略BOOK」を配付した。 ②警察署管内安全安心まちづくり推進協議会等が行う地域安全曲作りを支援した。 ③防犯パトロール団体に対して当協会が所有する青色回転灯等装備車両を貸与した。	○予算・資源の制約	①各地区の防犯団体等に犯罪被害防止にかかる資器材や冊子・チラシ、広報誌を配付 ②タウンポリスや学生等の防犯ボランティアの活動の活性化、各種犯罪被害防止教室・訓練の開催、スポーツ等を通じた少年健全育成活動等を支援する。 ③防犯パトロール車の活動を支援

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
2	高知県地域安全アドバイザー連絡会	1 2 3	各種防犯教室の開催	警察、学校、老人クラブ等と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室や高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。	児童に向けて、警察や教育委員会等と連携した防犯教室を開催するとともに、警察や社会福祉協議会等と連携した高齢者被害防止教室を開催した。	教室の対象となる児童や高齢者は毎年入れ替わることから、継続した取り組みが必要である。	警察等関係機関と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室や高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。
			地域安全活動の強化	「通学路安全の日」、「特殊詐欺被害ゼロの日」等の各種活動強化日には、学校等の関係機関、保護者、地域住民、防犯ボランティア団体等と連携して安全対策に取り組む。	関係機関や防犯ボランティア団体と連携し、子供見守り活動や、青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施しながら、地域住民に対するながら見守り活動や特殊詐欺被害防止を啓発するなど、地域一体となった地域安全活動の推進に努めた。	地域安全活動の中核である防犯ボランティア団体の高齢化がすすみ、一部では活動を廃止・休止する団体もでており、今後の連携に影響が生じるおそれがある。	関係機関・団体等と連携した子供見守り活動や防犯パトロール、地域住民に対するながら見守り活動の推奨や特殊詐欺被害防止啓発活動等により、各地域における地域安全活動の強化を図る。
			広報啓発行事	全国地域安全運動期間中に、警察や関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識の向上を図る。	全国地域安全運動や地元の催事において、警察や関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識の向上を図った。	キャンペーンに伴う啓発物品の購入等費用の捻出が必要である。	取組から削除(「各種広報啓発」に統合)
		2	各種広報啓発	社会の情勢に応じ、従来の方法にとられない広報啓発活動により、地域住民の安全安心まちづくりに対する意識高揚を目指す。	特殊詐欺等の被害が増加したことから、より具体的対策を広報できるよう、固定電話への国際電話を使った犯人からの電話を遮断する国際電話利用休止申込制度等の広報を推進した。	固定電話を設置する対象が多く、申込制度の説明も簡単ではないことから、制度の浸透に時間が必要である。	幅広く県民に伝わる広報啓発活動を展開し、防犯意識の啓発を推進する。
3	高知県タウンポリス連絡協議会 〔70団体、3553名〕(令和8年3月末現在)	1	地域の見守り活動の実施	計画的に防犯パトロールや子供見守り活動等を実施するとともに、日常生活の中で防犯の視点を持って見守り活動を行う「ながら見守り」を推進する。	防犯パトロールや子供見守り活動を行うとともに、警察、学校、自治体等と連携し、不審者情報を認知した際には随時防犯パトロール等を実施した。	各団体で高齢化が進み、活動に参加できる会員が限定される団体も多く、活動自体が困難な団体が増加している。	計画的な子供見守り活動の推進を図り、参加者の増加を目指す。
		1 2 3	全国地域安全運動等の啓発活動への参加	関係機関が実施する全国地域安全運動等の啓発行事に参加する。	全国地域安全運動期間中における見守り活動、街頭パレード、キャンペーン等への参加、警察と共同した特殊詐欺被害防止啓発活動への参加、駐輪場における鍵かけ運動への参加を行った。	各団体で高齢化が進み、活動に参加できる会員が限定される団体も多く、活動自体が困難な団体が増加している。	全国地域安全運動等の関係機関が実施する活動への積極的な参加を図る。
		4	総会や研修会の開催	会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会や研修会を開催する。	令和7年高知県タウンポリス連絡協議会総会の開催、会員団体との情報交換を行った。	会員団体の活動の活性化につながる研修会の実施が望まれる。	会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会や研修会を開催する。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
4	高知県民生委員児童委員協議会連合会	1 2	ブロック及び市町村単位での取組	それぞれの地域で、高齢者や障害者、生活困窮世帯、子育て世帯等、生活課題を抱えた住民が地域社会から孤立しないよう、各種福祉・保健関係者や多様な機関・団体との連携を深めながら、安心して生活できる地域づくりに取り組む。 また、個々の委員を支える民児協の組織活動においては、課題解決に向けた一体的な組織活動の推進やブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。	令和7年7月から令和8年2月にかけて県内11会場にてブロック別研修会を開催。各ブロックがそれぞれのニーズに応じたテーマ(生活防犯に加え、各種虐待及び特殊詐欺被害状況など)を設定し、合計1,783名が参加した。	それぞれの地域特性を活かした民生委員・児童委員活動に資するため、各市町村民児協の活動との連携や情報共有を行うことで、活動を後方支援していくことが求められており、担い手確保に向けた取組み等を強化していく必要がある。	ブロック及び市町村単位での取組(研修等の開催)
		1	役員会・専門部会・研修会	児童虐待や非行といった課題についての現状や、子育て世帯への支援について情報交換・協議を行うとともに、さまざまな地域生活課題に対応した研修を開催する。 ・会長・副会長会、理事会、総会ほか ・地域福祉推進部会 ・児童委員専門部会 ・主任児童委員研修会(年1回)	・地域福祉推進部会では、防災・災害時の対応について事例を通して学び、それぞれの地域での取組推進に向けて協議を行った。 ・児童委員専門部会では、少年非行と児童委員の関わり方について学び、児童委員・主任児童委員の役割について協議を行った。 ・主任児童委員を対象に児童虐待の対応等に関する研修を実施。		・会長・副会長会、理事会、総会ほか ・地域福祉推進部会 ・児童委員専門部会 ・主任児童委員研修会(年1回)
		4	その他	関係機関等への取組への協力や活動周知を行う。	・県、県社協、企業等の三者協定の締結(高知県における地域の見守り活動に関する協定)(R7締結数2) ・新聞への活動広告掲載 ・テレビコマーシャルを活用した活動周知		・高知県における地域の見守り活動に関する協定 ・テレビコマーシャルを活用した活動周知 ・民生委員の日(5月12日)に合わせた周知活動
5	公益財団法人高知県老人クラブ連合会	1 2 3	会報紙や会議・研修会等を通じた啓発活動	・会報誌に見守り活動等の記事を掲載して啓発 ・会議等において安全安心に関する取組の情報を提供 ・老人クラブ会員を対象とする研修会において、特殊詐欺被害防止や鍵かけ等に関する講演を実施 ・当会の封筒に高齢消費者被害防止の標語を印刷	・会報誌に見守り活動等の記事を掲載することはできなかったが、老人クラブ会員を対象とする研修会(3回)で取組事例の発表等を行って啓発につなげた。 ・県内6箇所で開催するブロック会議において、安全安心に関する取組事例を提供した。 ・老人クラブ会員を対象とする研修会(3回)において、特殊詐欺被害防止や鍵かけに関する講演を実施した。 ・当会の封筒(角2、2,500枚)に高齢消費者被害防止の標語を印刷して、使用している。	特になし。	・会報誌に見守り活動等の記事を掲載して啓発 ・会議等において安全安心に関する取組の情報を提供 ・老人クラブ会員を対象とする研修会において、特殊詐欺被害防止や鍵かけ等に関する講演を実施 ・当会の封筒に高齢消費者被害防止の標語を印刷
		1	地域見守り活動の促進	・当会の実施する「地域支え合い事業」のメニューの中に、世代間交流による子どもの見守り活動を位置付け	・当会の実施する「地域支え合い事業」のメニューの中に、世代間交流による子どもの見守り活動を位置付けてモデル事業を実施できるようにし、令和7年度は1市町村老連で実施した。	特になし。	・当会の実施する「地域支え合い事業」のメニューの中に、世代間交流による子どもの見守り活動を位置付け
			交通安全への啓発活動	・夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布	・企業から寄贈された1,000セットの夜間歩行者用反射リストバンド等を老人クラブ会員に配布した。	特になし。	・夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
6	高知県連合婦人会	1	地域で子どもを見守ろう	・高知県内にある四国八十八カ所霊場のお寺において、住職による地元小学校の児童・生徒に対する防犯・交通安全等の講話を行う	室戸地区において、地元小学校の児童・生徒に対して講話を実施。防犯・交通安全等のほか、挨拶の励行や感謝する気持ちを持つことを心がける等についても説明した。		地域で子どもの安全を推進する
		2	特殊詐欺の被害を防ごう	会員や地域住民等に対して、電話で少しでも疑問に思うような内容があれば、詐欺を疑うこと等呼びかける	室戸市各地区において、適宜実施		特殊詐欺等の被害防止を呼びかける
		3	鍵かけ運動の呼びかけ	特に地方における鍵かけの励行を呼びかける	団体としての活動時だけでなく、住民どおしの日常会話の中でも鍵かけの励行を呼びかけるよう促した。		鍵かけの呼びかけ
7	高知県社会福祉協議会 【会員770団体】	1	オレンジリボンキャンペーンを通した啓発活動	・夏のボランティアキャンペーンでのオレンジリボン作成を通した中高生等への啓発活動 ・高校生対象のポスターデザイン募集及びポスター・チラシ・グッズの作成・配布 ・SNSを活用した「オレンジリボンキャンペーン」の普及啓発 ・児童虐待防止をテーマにした講演会の開催	・夏のボランティアキャンペーンでのオレンジリボン作成を通した中高生等への啓発活動 ・龍馬マラソンでのオレンジリボンの配布 ・高校生対象のポスターデザイン募集及びポスター・チラシ・グッズの作成・配布 ・SNSを活用した「オレンジリボンキャンペーン」の普及啓発 ・児童虐待防止をテーマにした講演会の開催	・一般県民への周知・啓発	・夏のボランティアキャンペーンでのオレンジリボン作成を通した中高生等への啓発活動 ・高校生対象のポスターデザイン募集及びポスター・チラシ・グッズの作成・配布 ・SNSを活用した「オレンジリボンキャンペーン」の普及啓発 ・オレンジリボンキャンペーンパレード
			地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進	・子ども食堂の開設及び運営の支援 ・子ども食堂の県内全域への普及促進及び食材提供に関する効果的な取組等による支援	・子ども食堂の開設及び運営の支援 ・企業等からの食材提供に対し、関係機関と連携してニーズに応じた食材マッチングを行い、子ども食堂を支援 ・子ども食堂シンポジウムやスタッフ研修の開催	・子ども食堂の県内全域への普及 ・子ども食堂の安定的な運営支援	・子ども食堂の開設及び運営の支援 ・子ども食堂の県内全域への普及促進及び食材提供に関する効果的な取組等による支援
		4	見守りや支え合いの地域づくり	・地域での支え合いの仕組みづくりを進める市町村社協や市町村を支援するために、研修会や個別支援、アドバイザー派遣等を実施。 ・コミュニティソーシャルワーカー研修をはじめとした、地域づくりや見守り・支え合いに関わる専門職の研修等による養成を進める。	・地域での支え合いの仕組みづくりを進める市町村社協や市町村を支援するために、研修会や個別支援、アドバイザー派遣等を実施。 ・コミュニティソーシャルワーカー養成をはじめとした、地域づくりに関わる専門職の研修等による養成を推進。	・複合化した地域生活課題や人口減少など地域の実情に応じた仕組みづくりの推進	・地域での支え合いの仕組みづくりを進める市町村社協や市町村を支援するために、研修会や個別支援、アドバイザー派遣等を実施。 ・コミュニティソーシャルワーカー研修をはじめとした、地域づくりや見守り・支え合いに関わる専門職の研修等による養成を進める。
			再犯防止に向けた取り組み	・高齢であったり障害がある矯正施設退所者等が地域で安定した生活を送ることができるよう支援すると共に、地域の関係機関の触法者支援に関する理解を進める研修会等を開催 ・再犯防止総合相談窓口の開設	・矯正施設退所者等の支援。 ・触法者支援に関する研修の開催（香美市、いの町） ・高知刑務所見学会の開催。 ・再犯防止総合相談窓口を開設し、相談を受け付け助言等を実施。	・触法者支援に関する県民の理解促進	・高齢であったり障害がある矯正施設退所者等が地域で安定した生活を送ることができるよう支援すると共に、地域の関係機関の触法者支援に関する理解を進める研修会等を開催 ・再犯防止総合相談窓口の開設
8	(一社)高知県交通安全協会	1	見守り活動の実施・交通安全啓発活動の実施	交通安全運動等の街頭啓発活動に併せ、事故から守るための見守り活動を実施する	県民交通安全日や各種交通安全街頭指導において、交通事故の防止とともに子どもたちを犯罪の被害から守るための見守り活動も併せて行った。	現在の活動会員が高齢化しているため、若手の活動会員の人員確保と育成	①県民交通安全日等において事故防止を呼びかける ②安全運動期間中、県内各支部においてドライバーサービスなどのイベントを実施し、交通安全を呼びかける

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
9	高知県交通安全指導員協議会（256名）	1	地域で子どもや高齢者などを交通事故から守ろう	高齢者交通安全啓発事業 飲酒運転追放キャンペーン、シートベルト着用キャンペーン	・夜間の歩行者保護を目的とした交通安全啓発品配布事業を行った。 ・ドライバーサービスの実施(全国交通安全運動期間中、各関係機関と合同でドライバーサービスを実施し、シートベルト着用や飲酒運転の根絶、安全運転を呼びかけた。	人員、時間の確保	交通安全を呼びかける看板等の啓発物を購入し設置する。 春、秋、年末年始の交通安全運動期間中、ドライバーに飲みもの・チラシを配布し、交通安全を呼びかける。
				高齢者交通安全啓発事業	高齢者が日常的に利用する量販店でのイベントや敬老会等の機会を利用して、交通事故防止を呼びかけながら反射材などを配布し、啓発活動を行った。	啓発場所が限られてくる。	高齢者が日常的に利用する金融機関、量販店に出向き、高齢者を対象に交通事故防止を呼びかけながら反射材などを配布し、啓発活動を行う。
				街頭交通安全指導	各地域の交差点等において継続的に街頭交通安全指導を行った。	人員、時間の確保	各地域の交差点等において継続的に街頭交通安全指導を行う。
				交通安全教室の開催	・交通安全教室を実施し保育園児・小学生・中学生への啓発活動にも努めた。 ・地区内の保育園児・幼稚園児・新入学生等を対象に交通安全教室を開催し、基本の交通ルールを指導した。交通安全意識向上のため、啓発品の配布を行った。	人員、時間の確保	こどもの交通事故防止(小学校1年生を対象に、安全確認等の交通ルールが学べる交通安全教室を開催、新一年生の児童生徒の通学に対する交通安全指導、横断歩道を渡ること等)
10	高知県交通安全母の会連合会[26支部]	1	地域で子どもや高齢者などを事故や事件から守ろう	各交通安全運動期間中や各安全日等の街頭指導を通じて、子供や高齢者の見守り活動を行う。	・量販店に来店した人に対しチラシや啓発グッズを配布し、交通事故防止を呼びかけた。 ・のいち動物公園の来場者を対象に、シートベルト・チャイルドシート着用キャンペーンを行い、チラシや啓発グッズを配布して交通安全意識を高めた。	人員、時間の確保	・交通事故防止を目的とした街頭指導等の実施を行う。 ・自動車乗車時は、全席シートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用を呼びかける。 ・自転車乗車時は大人もヘルメットを着用するように努めるとともに、児童・学生のヘルメット着用を推進する。
				高齢者を対象とした交通安全教室を開催し交通安全意識の向上を図る。	・高齢者世帯を訪問した。啓発用ティッシュペーパーなどを配布しながら歩行中、車など運転中の道路上での注意点を説明し、交通安全意識を高めた。	呼びかけだけでは効果が少ない。 人員の確保	・世帯訪問を実施し、交通事故に遭う高齢者が多いことや、事故原因や注意点を説明し、危険に対する警戒心や交通安全意識の向上を図る。 ・年金日の金融機関や量販店などに出向き、反射材の利用や明るい服装での外出を呼びかける。
				こどもに対して、交通社会に適応出来るよう、交通安全教室等に出向き交通ルールを指導する。	・各小学校・保育・子ども認定園で、横断歩道の渡り方と自転車への乗り方をテーマに交通安全教室を行った。 ・通学路において街頭指導を行った。	訪問時間帯の選択	・保育園・学校に出向き、出前ふれあい型交通安全教室を実施開催する。 ・子供に対する街頭での保護・誘導活動を積極的に行う。
		1 2	地域で子どもや高齢者などを事故や特殊詐欺被害から守ろう	安全安心まちづくり活動推進 自主防犯組織や民生児童委員とともに、登下校時の子供の見守り活動を行う。	・関係機関とともに高齢者出前ふれあい事業や高齢者1万人訪問活動を行い、高齢者に対して交通事故防止、特殊詐欺等被害防止の啓発を行った。	訪問時間帯の選択	安全安心まちづくり活動推進 自主防犯組織や民生児童委員とともに、登下校時の子供の見守り活動を行う。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
11	高知県少年警察ボランティア協会 (17地区、413名)	1	見守り活動の実施	各地区や地域の実情に合わせた街頭補導活動や通学路での見守り活動等の街頭活動を実施し、効果的な取組を図る。	少年警察ボランティアの活動状況として、 【令和7年中】 街頭補導活動、310回(延べ791人参加) 各地区の少年警察ボランティアが、関係機関、団体等と連携し、小中学生の登下校時間、夜間の時間帯等において地域に密着した街頭補導活動を実施した。	活動の効果を上げるため、関係機関及び団体との連携を深め、地域の実情に即した取組を継続していく必要がある。	各地区や地域の実情に合わせた各種行事等における街頭補導活動や通学路での見守り活動等の街頭活動を実施し、効果的な取組を図る。
		3	啓発活動への参加	関係機関及び団体との良好な関係を保持し、お互いの特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。	各地区ボランティアが、関係機関、団体及び地元学生等と連携し、自転車盗難防止活動の広報や声掛けを行ったり、地域安全運動等の行事に参加して、地域住民と一体となった少年の健全育成や地域安全について啓発した。	県民の理解と協力を得るため、活動の趣旨を明確にして広報し、親しみやすい活動にする必要がある。	関係機関及び団体との良好な関係を保持し、お互いに連携を取りながら、少年警察ボランティアとしての特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。
		4	機関誌への掲載	各地区の少年警察ボランティアの活動状況を紹介する機関誌を有効活用し、情報共有すると共に連携を図り、活動の充実と活性化につなげる。	各地区の特色を活かして実施した安全安心まちづくり活動を、機関誌「さぽーと」(年1回4月、600部作成)に掲載し、会員及び関係機関等に配布して、会員等の活動意欲の醸成を図った。	少年警察ボランティアの活動に対する県民の理解を得て、地域ぐるみで少年の健全育成の社会機運を醸成する必要がある。	各地区の少年警察ボランティアの活動状況を紹介する機関誌を有効活用して情報共有と共に連携を図り、活動の充実と活性化につなげる。
		2 3 4	研修会等での呼びかけ	総会及び研修会等を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで安全安心まちづくり活動の充実と活性化を図る。	高知県少年警察ボランティア協会の研修会を開催し、少年関係機関の取組への理解を深めた。 各地区においても総会や研修会を開催して子どもの見守り活動や鍵かけ運動の推進及び犯罪被害防止等について意見交換し、活動の充実と活性化を図った。 また研修会において、国際電話取扱不取扱受付センターへの申し込みや特殊詐欺・SNS型投資詐欺等の被害防止に関する広報啓発活動を行った。	多くのボランティアが気軽に参加できるよう、オンライン研修や参加できなかった研修会内容の伝達、開催場所の工夫等、多様な形の研修方式を検討する必要がある。	総会及び研修会等を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで安全安心まちづくり活動の充実と活性化を図る。
12	公益財団法人 高知県身体障害者連合会	1 2	会員への意識啓発	高知県身体障害者連合会の各種会議・研修会を通じて安全・安心まちづくりについての啓発を行う。	高知県安全安心まちづくり推進協議会安全安心まちづくりだより、高知県交通安全推進県民会議高齢者交通事故防止キャンペーンちらし、秋の全国交通安全運動ちらし、くらしネットkochiちらし、安全安心まちづくりニュース、国民生活センター見守り新鮮情報などの情報を会員団体に配布した。	会員団体の活動が弱体化しており、情報が末端の個人まで行き届かないことがある。	高知県安全安心まちづくり推進協議会安全安心まちづくりだより、高知県交通安全推進県民会議高齢者交通事故防止キャンペーンちらし、秋の全国交通安全運動ちらし、くらしネットkochiちらし、安全安心まちづくりニュース、国民生活センター見守り新鮮情報などの情報を会員団体に配布する。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
13	高知市老人クラブ連合会 102クラブ	1	地域見守り活動の実施	○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続。 ○地域における児童の見守り活動の継続。 ○クラブの友愛活動の中で、閉じこもりがちな高齢者に対して、訪問と電話活動で見守り活動を継続する。	○新入学児童の登下校時の見守り活動を実施した。 ○各クラブの自主的活動により継続的に実施できた。		○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続。 ○地域における児童の見守り活動の継続。 ○地域共生社会づくりの上では重要な取り組みであるため、今後ともクラブの友愛活動の中で、閉じこもりがちな高齢者に対して、訪問と電話活動で見守り活動を推進する。
			交通安全意識の啓発	○市老連、地域ブロック、単老での啓発を推進。	○高知南警察署の協力を得て交通安全教室を開催。 ○秋の交通安全運動期間中に無事故無違反チャレンジ100を実施した。		○生き生き大学の学習課程に組み込む。 ○ホームページへの掲載。
		1 3	研修会等での呼びかけ	○ブロック研修会や活動の中で講師や内容を工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデイサービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施。	○ミニデイサービス事業への所轄署高齢者アドバイザーによる交通安全教室を実施した。実施箇所14箇所、回数19回、参加者296名。		○ブロック研修会や活動の中で講師や内容を工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデイサービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施。
		2	広報紙(機関紙)への掲載	○＃9110の啓発チラシを館内へ配置。	○南部健康福祉センター老人憩所及び西部健康福祉センター、高齢者いきいきセンター内に配置した。		○くらしネットの配布協力。 ○館内への啓発ポスター掲示、チラシの配置。
14	あさひのこどもを守る会 53団体、53人	1	地域で見守り活動	・小学校全登校日の登下校時の見守りパトロール ・全登校日通行量最大横断歩道(約300人)での安全(登校時)確保 ・晴天時の下校時における横内小・旭小学校通学道路での青パトによるパトロール ・月1回(15日)自転車夜間照明点灯の指導・安全指導 ・第3火曜日の夕刻に会員等によるパトロール等を実施 ・会員による活動PR	・登下校時同伴パトロールを実施した。 旭小:週1回 横内小:交通量の多い横断歩道利用児(約300人)の安全確保・交通指導(横内小全登校日)を実施した。 ・青パトによる下校時(晴天のみ)パトロールを合計128日実施した。 ・第3火曜日の夕方(17時から19時の内、40分程度)会員・民生員児童委員等による地域内のパトロールを実施した。 ・毎月15日(土日・祝日の場合は翌日)の夕方、主要交差点での自転車点灯指導を実施した。 ・会員が町内に出かけるときは、会指定の帽子を被って、住民に見守り活動していることをPRした。	会員の高齢化等によりボランティアの参加が減少している。	令和7年度に準じて実施する。 ただし、青パト担当者が高齢により引退(本年3月末)したので、後継者が見つかり次第、活動する。
			情報交換、防犯、安全への呼びかけ	旭西部地域内広報誌「あさひ西方見聞録」に活動状況等を広報、地域住民に配布。	・定例会・交流会開催(6月、12月)時に参加した会員や関係団体に広報。 ・4月(年1回)地域内約3,100世帯へ広報紙(あさひ西方見聞録)を配布した。	参加者が少ない。	令和7年度に準じて実施する。
			安全安心なまちづくり広報啓発	安全安心なまちづくり啓発パレードを実施する	未実施(天候等の理由)	高知商業高校音楽部からの辞退の申し出	例年に準じて実施する。
		2	特殊詐欺被害防止の取組み	特殊詐欺被害防止等の広報啓発活動を実施する。	高齢者が集まる行事(いきいき百歳体操など)の機会を通じて啓発活動を実施した。	マンネリ化傾向にある。	令和7年度に準じて実施する。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
15	高知県更生保護女性連盟 【県下13地区・586名 (令和8年4月現在)】	1 2	地域の見守り活動	子ども・高齢者などの見守り運動・犯罪予防活動	・各地区において、小学校通学路における新入学児童等の見守り及びあいさつ運動を実施。 ・地区等において、子ども食堂に対し、支援・協力を実施。 ・各地区において、小学生を対象に交通安全教室を実施。 ・各地区において、青少年育成センター等から不審者情報があれば、すぐに小学生に声をかけ、注意喚起及び登下校時の見守りを実施。 ・“社会を明るくする運動”で犯罪予防を呼びかけ標語を当番の中学校から募集し、優秀作品を記載したパネルを家庭や地域の掲示板に掲示した。 ・地区の高齢者世帯を個別訪問し、特殊詐欺や交通事故に遭わないよう被害防止を呼びかけた。	会員数の減少及び高齢化等に伴う活動回数等の減少や会員負担の増加が課題。	・子ども・高齢者などの見守り運動・犯罪予防活動 地区の高齢者世帯を個別訪問し、特殊詐欺や交通事故に遭わないよう被害防止を呼びかける。 小学校通学路における新入学児童等の見守り及びあいさつ運動の実施。小学生を対象にした交通安全教室の実施。 子ども食堂への支援・協力の実施。
			鍵かけ運動	鍵かけ運動の実施	・地区の高齢者世帯を個別訪問した際に、住宅や乗り物の施錠を忘れないよう呼びかけた。	会員数の減少及び高齢化等に伴う活動回数等の減少や会員負担の増加が課題。	・鍵かけ運動 地区の高齢者世帯を個別訪問した際に、住宅や乗り物の施錠を忘れないよう注意喚起の実施。
			広報活動	安全安心まちづくりポスターの掲示	・地域の掲示板等に安全安心まちづくりポスターを掲示した。	特になし	・広報活動 地域の掲示板等に安全安心まちづくりポスター掲示の実施。
			地域連携	犯罪予防のための啓発活動等の実施	・国や県が推進する再犯防止推進計画に係る再犯防止のための協議会に参加した。	特になし	
16	高知県小中学校PTA連合会	4	活動方針として取り組む	高知県小中学校PTA連合会総会において、「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ取り組む。	事件・事故・災害から子どもの生命と守られるよう研修会などで会員の意識啓発を行った。		高知県小中学校PTA連合会総会において、「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ取り組む。
			広報紙・ホームページへの掲載	高知県小中学校PTA連合会の広報紙・ホームページに犯罪・事故のない安全安心まちづくりに関する記事やシンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う(7月発行 約24,000部)	地域社会の大切さに関する記事を掲載した広報紙「高知県PTA新聞」(7月発行)を23,928部印刷し、会員の意識啓発を行った。		高知県小中学校PTA連合会の広報紙・ホームページに犯罪・事故のない安全安心まちづくりに関する記事やシンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う(7月発行 約24,000部)
17	高知県小中学校長会	1	○研修会等における協議・情報交換等の実施 ○講演や講話 ○コンクールへの参加	○児童・生徒の健全育成の推進について 児童・生徒の健全育成のための心の教育、いじめ、暴力などの課題解決の取組について連絡し、あり方を協議する。 ○学校単位で警察等と協力し、交通安全教室、防犯教室、SNS学習等を実施する。 ○「令和7年度高知県犯罪のない安心安全まちづくりポスター」コンクールへの取組	○高知県小中学校長会研究大会の研究題別分科会(第5研究題「安心安全な学校づくり」)において、研究協議を行った。 ○学校単位で警察等と協力し、交通安全教室、防犯教室、SNS学習等を実施した。 ○「令和7年度高知県犯罪のない安心安全まちづくりポスター」コンクールへ参加した。	○ポスターコンクールにおいては、県全体への周知が不十分だった。	令和7年度に同じ

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
18	高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 [スクールガード・リーダー45名(R7)]	1	学校や通学路の見守り活動	・通学路の見守り活動 ・学校周辺の巡回 ・スクールガード育成研修会の実施 ・学校への適宜助言	スクールガード・リーダーを配置するほぼ全ての市町村で年間予定数通りの巡回が実施できた。 県が実施する研修会の他、独自にスクールガード育成研修会を実施する市も見られた。(安芸市)	・高齢化のために、体調不良等で巡回日数が減った市町村があった。 ・後継者不足は例年の課題となっている。	・スクールガード・リーダーを委嘱し、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、巡回指導や学校及びスクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導助言等を行う。 ・後継者不足の解消のため、広報活動を行う。
			スクールガード・リーダー連絡協議会及び高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会の同時開催	・講師招聘(Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクト主宰 武田信彦氏) ・見守り活動のポイント ・地域の防犯力向上	・講師による講話が大変ためになったという多くの声に参加者よりあった。 ・グループワーク等も盛り込んで活動できたことで、市町村の絆を越えた繋がりが広がった。	・講演の時間が十分に確保できず、急ぎ足の内容となってしまっていた。	・引き続き、スクールガード・リーダーの活動の充実に向け、研修や情報交換の場として、スクールガード・リーダー連絡協議会(各市町村担当者も参加)を同時開催する。講師に立正大学 小宮信夫教授を招聘し、防犯における科学的知見を元に、防犯活動の推進について講話をいただく。
19	高知県経営者協会	4	会員への広報	「安全・安心まちづくりニュース」をホームページに掲載するとともに、会員専用のメルマガで会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。	「安全・安心まちづくりたより、ニュース」が県から提供ある度に、ホームページに掲載し、同時に会員専用のメルマガで会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかけた。	会員のHPへのアクセスが多いとはいえず、周知が十分かどうかが不明、他の機関からの広報もあると思われることから重複している可能性もある。	「安全・安心まちづくりニュース」をホームページに掲載するとともに、会員専用のメルマガで会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。
20	高知県商工会議所連合会	1 2 3	広報活動	①会員企業に対して、広報誌やホームページ等を通じて地域安全について、理解と協力依頼を行うなど、間接的防犯活動の実施 ②「安全安心まちづくり」の啓発ポスターの掲示	①会員企業に対して、広報誌やホームページを通じて、地域安全について、理解や協力依頼を行うなど、間接的防犯活動の実施に加え、会報7月号では特殊詐欺の特集を掲載した。 ②「安全安心まちづくり」の啓発ポスターの掲示		①本年度も県警と連携して、会報に特殊詐欺などの注意喚起情報を掲載し、会員に対し周知する。 ②新高知商工会館にデジタルサイネージを設置しており、運用方法はまだ決まっていないが、データで放映可能になるため、可能であれば、サイネージの利用を検討(ポスターの掲示が出来なくなる。)
21	高知県商工会連合会	1 2 4	地域見守り防犯活動の実施 犯罪等の予防のための連携 職員への啓発	自主防犯パトロール 会員事業所訪問による際に、詐欺等の被害防止の呼びかけ 会報誌に詐欺について掲載し、啓発活動の推進	自主防犯パトロール(不定期) 会員事業所を訪問する際に、詐欺等の被害防止の呼びかけを行った。 高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスターの掲示 定期的に、職員サイトへ詐欺の注意喚起文書を掲示し、防犯意識の向上を図った。	業務が忙しく、不定期でのパトロールになる 会報誌への掲載が出来なかった 一方的な周知にとどまり、職員の理解度や浸透状況を把握しにくい	自主防犯パトロール 会員事業所への呼びかけポスターの掲示 R7年度同様、定期的に職員サイトへ詐欺の注意喚起文書を掲示する
22	高知県旅館ホテル衛生同業組合(9支部、181事業所)	1 4	「地域見守りの宿」活動の実施 全国地域安全運動等への参加	2006年より登下校中等の子供の安全のための事業を行ってきたが、参画施設を拡大し、子供等を狙う犯罪、女性の一人歩き、インバウンド等の観光客が緊急に頼れる宿として1つのインフラとなることを目指す活動に努める。 全国地域安全運動、年末年始における犯罪防止活動への参加。	5月26日総会にて「地域見守りの宿活動」について周知。 ステッカーを製作、参画15施設に配布し、入口等の見やすい場所に掲示。 各会総会等への参加。		「地域見守りの宿」参画施設の拡大、ステッカー掲示に努める。 全国地域安全運動、年末年始における犯罪防止活動への参加。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
23	公益社団法人 高知県建築士会 会員約800名(令和7年4月現在)	4	高知県建築士会報・ホームページへの掲載	①会報「高知 建築士」に記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力	①会報「高知 建築士」に県からの啓発記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④年間2回、建築物防災週間に県と現地調査を実施		①会報「高知 建築士」に記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力
24	高知県金融機関防犯連合会		情報提供の推進	特殊詐欺等の犯罪情勢に応じたタイムリーな情報発信を行い、「だまされないための対策」を強化する。	警察からの特殊詐欺等の発生に関する情報提供を受けて、顧客への注意喚起を呼びかけた。	被害防止意識の浸透を図るため、多くの顧客の目にとまる情報提供を行う必要がある。	被害防止啓発チラシ、店頭サイネージ等多様な方法による情報提供の推進を図る。
		2	被害防止対策の推進	警察と共同して、特殊詐欺等被害防止の注意喚起や顧客への声かけ訓練、モニタリングの強化による被害抑止等を推進し、「だまされても被害金を取られないための対策」を推進する。	県内に本店を置く金融機関において、警察とのモニタリング協定を結び、被害の拡大防止に努めたほか、被害が疑われる利用者への積極的な声かけと警察への通報により被害の未然防止・拡大防止に努めた。	特殊詐欺等の被害が発生しており、引き続き利用者への積極的な声かけ等により、被害抑止に努める必要がある。	利用者への注意喚起、モニタリング等による被害防止等の被害防止対策の推進を図る。
			全国地域安全運動等への参加	全国地域安全運動、年末年始における犯罪抑止活動(特別警戒)へ参加する。	警察等の行う特殊詐欺被害防止啓発活動、全国地域安全運動等における啓発活動に参加し、特殊詐欺等の被害防止啓発活動に努めた。	各種キャンペーン等の行事へ参加し、犯罪の未然防止について意識を醸成していく必要がある。	各種キャンペーン等に参加して、特殊詐欺等の被害防止を呼びかけるため、全国地域安全運動等への参加を図る。
		4	店舗の防犯体制の強化	カラーボールの配置、防犯カメラ、緊急通報装置の点検、効果的な活用を図り、店舗の防犯体制を強化する。 警察と連携し、実践的な強盗対応訓練を実施する。	店舗の防犯責任者の指定、店舗独自による、又は警察と共同した防犯訓練を実施するとともに、報道等への広報を行い強盗等の抑止に努めた。	強盗等の被害発生時における対応だけでなく、犯行の未然防止を図る必要がある。	日頃の警戒体制の強化を図り、強盗対応訓練の実施・広報により、店舗の防犯体制の強化を図る。
25	高知県石油業協同組合	1	地域安全シェルター(かけこみ110番連絡所)活動の実施	「かけこみ110番連絡所」としての活動	各地域にあるガソリンスタンドにおいて、何かあったときにすぐに地域住民等がかけこめるよう開かれた店舗づくりを実施した。		「かけこみ110番連絡所」としての活動
		4	緊急時石油製品供給安定化事業	災害時対応としての研修会への参加。 自家発電機点検及び稼働訓練の実施。 資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加。	災害時対応としての研修会へ参加。 自家発電機点検及び稼働訓練の実施。 資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加。		災害時対応としての研修会への参加。 自家発電機点検及び稼働訓練の実施。 資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加。
			自治体主催の総合防災訓練	自治体主催の総合防災訓練への参加	令和7年6月1日に、高須浄化センターで開催された総合防災訓練に参加。		自治体主催の総合防災訓練

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)実績(D)課題(C)			令和8年度に行う予定の取組(A)
26	高知県理容生活衛生同業組合	1	安全シェルター活動(こども110番の家)の実施	「地域に根差した店舗」としての取組	各店舗に対して地域に根ざした店舗になるよう周知を徹底した。	全組合員が掲示する状況になっていない。	繰り返し、掲示の要請をしていく。また、組合の活動の一環であり、「地域に根差した店舗」としての取組であることの周知を徹底し、浸透を図りたい。
		4	広報誌「理容高知」への掲載 高知支部広報誌「くろしお」への掲載 研修会等でのよびかけ	広報誌「理容高知」に犯罪のない安心安全なまちづくりに関する記事を掲載し、組合員に配布 ②高知支部広報誌「くろしお」への発信強化 具体的な被害の情報(新聞外)をもとに、各会議にて、問題を提示し、安心安全のまちづくりへの認知を各理事から、組合員に発信してもらえる組織づくりの強化	広報誌「理容高知」に犯罪のない安心安全なまちづくりに関する記事を掲載し、組合員に配布した。 安心安全のまちづくりへの認知を各理事から、組合員に発信してもらえる組織づくりの強化を実施。	発信の場として、活用できていなかった。 組合員への周知が浸透していない。	①広報誌「理容高知」に犯罪のない安心安全なまちづくりに関する記事を掲載し、組合員に配布し、浸透を図りたい。 ②高知支部広報誌「くろしお」にも取り上げて発信をより強化したい。 具体的な被害の情報(新聞外)をもとに、各会議にて、問題を提示し、安心安全のまちづくりへの認知を各理事から、組合員に発信してもらえる組織づくりの強化を図りたい。
27	高知県遊技業協同組合	1	総会において活動方針の実施	活動方針を事業計画に反映させる	地域での見守り活動(交通安全を含む)を実施	発展的継続	活動方針を事業計画に反映させる
		4	各ホール駐車場における防犯対策の実施 子ども食堂への寄贈	子どもの車内放置、強盗、車上ねらい等の被害防止活動 社会福祉協議会を通じて、子ども食堂へ飲料水を寄贈	駐車場の巡回、ポスターの掲示、店内放送を実施。子どもの車内放置事案については1件発生するも駐車場見守り活動が功を奏し、早期発見により子どもの健康被害なし。 社会福祉協議会へ飲料水(1000本)を寄贈し、県内の子ども食堂で提供	発展的継続 発展的継続	子どもの車内放置、強盗、車上ねらい等の被害防止活動 社会福祉協議会を通じて、子ども食堂へ飲料水を寄贈
28	一般社団法人 高知県トラック協会 〔会員6支部 400社、約8,000名〕	1	地域見守り活動の実施	会員企業の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する。	・会員企業(中央・幡多ダンプカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施した。 ・会員企業(全車両)に「こどもを守る安全運転宣言車」のステッカーを貼付し、未来を担う子供を交通事故等から見守り、一般のドライバーへの啓発活動を実施した。		会員企業の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する。
		1	広報誌への掲載	広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う。	広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行った。		広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う。
		2	広報誌への掲載	広報誌「こうちトラック情報」へ「防犯情報」を掲載し、会員の意識啓発を行う。	広報誌「こうちトラック情報」へ「防犯情報」を掲載し、会員の意識啓発を行った。		広報誌「こうちトラック情報」へ「防犯情報」を掲載し、会員の意識啓発を行う。
		4	広報誌への掲載	広報誌「こうちトラック情報」へ「防犯情報」を掲載し、会員の意識啓発を行う。	広報誌「こうちトラック情報」へ「防犯情報」を掲載し、会員の意識啓発を行った。		広報誌「こうちトラック情報」へ「防犯情報」を掲載し、会員の意識啓発を行う。
29	一般社団法人 高知県警備業協会	1	地域における子供見守り活動	県内各地において、「青色回転灯パトロールカー」を使用した巡回、警戒、声掛け活動を実施し、子供を事件・事故から守る活動を展開する。	○令和7年度中、高知市及び四万十市において、通学路や公園を中心に青色回転灯パトロールを127回実施した(前年度比+33回)。 ○青色回転灯パトロールをより効果的に実施するため、高知県警Fネットの不審者情報をパトロール実施会員に提供し、重点的なパトロールの支援を行った。 高知県安全安心まちづくり推進会議総会に出席。その他行事への積極的参画。	業務多忙により、パトロール実施時間(実施者)の確保が難しい。	警備のプロの目を生かした青色回転灯パトロール活動を、より積極的に推進するとともに、実施会員の増加を呼びかけ、活動の更なる活性化を図る。
		4	地域安全活動への積極的参加	県や県警が行う各種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。			県や県警が行う各種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
30	一般社団法人高知県指定自動車学校協会	1	高齢者の交通安全対策	交通安全運動や教習所の一日開放行事等にあわせて高齢者交通安全教室を開催	各教習所において、単独或いは自治体、警察等と共催する形で、高齢者対象の交通安全教室を開催	参加者は、高齢ドライバーが中心で、参加人数も限定的	・各教習所において、高齢者対象の交通安全教室を開催 ・各教習所において、高齢者講習にあわせて、交通安全チラシ等を配付 ・各教習所において、全国交通安全運動に伴い、街頭での呼びかけ等交通安全啓発活動を実施
		4	「安全安心まちづくりニュース」の配付	全11支部へ配付	計画通りに配付	なし	同様に配付する。
31	株式会社ドコモCS四国高知支店	1	公的機関依頼に基づく防犯運動等への参加	公的期間等が行う全国地域安全運動の活動等、諸活動への参加	公的機関等が行う全国地域安全運動の活動等、諸活動への参加		公的機関依頼に基づく防犯運動等への参加
		4	社員向け各種呼びかけ	社員向けの各種研修・周知を実施	社員向けの各種研修・周知を実施		社員向け各種呼びかけ

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
32	日本貸金業協会 高知県支部 [4名] (令和8年4月現在)	2	ホームページへの掲載	引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。 協会ホームページに出前講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進する。 (ホームページURL : http://www.j-fsa.or.jp) SNS媒体の活用による視聴数の増加に努める ・視聴率の定期的分析に基づくより効果的な配信 ・有識者・関係機関と連携し、内容の見直し	(1)引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行った。 協会ホームページに出前講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進した。 (ホームページURL : http://www.j-fsa.or.jp) (2)SNS等悪質な金融犯罪や特殊詐欺による被害の未然防止のため、啓発動画を制作しSNS広告で配信。特に「マッチングアプリを悪用したぼったくり」と「ニセ警察詐欺」、「闇バイト」については、警視庁や神奈川県、大阪府、北海道の各警察本部と連携し、連携先のHPに遷移させる等により、注意喚起の効果向上を図っている。警察との連携は、「ヤミ金融対策」や「多重債務対策」のみならず、消費者啓発・金融教育の分野にまで拡大させた。 ○SNS広告配信実績(R8年2月末現在) ・TikTok 視聴 3,603,929回 ・YouTube視聴 1,634,232回 計 5,238,161回		引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。 協会ホームページに出前講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進する。 (ホームページURL : http://www.j-fsa.or.jp) SNS媒体の活用による視聴数の増加に努める ・視聴率の定期的分析に基づくより効果的な配信 ・有識者・関係機関と連携し、内容の見直し
			ポスターリーフレットの配布	金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める。 金融トラブル防止のためのQ&ABOOKの配布拡大に努める。 ・最新事例等を盛り込む等の改訂 ・PRチラシ等を利用した無償提供活動推進	金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努めた。 金融トラブル防止のためのQ&ABOOK(R8年3月末現在)225,172部を無償で配布した。		金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める。 金融トラブル防止のためのQ&ABOOKの配布拡大に努める。 ・最新事例等を盛り込む等の改訂 ・PRチラシ等を利用した無償提供活動推進
		4	関係機関との連携	行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努める。	行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努めた。		行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、金融経済教育・啓発活動を推進し、金融犯罪防止に努める。
			消費者等からの相談対応	消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談対応にあたる。	消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応した。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努めた。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談対応にあたった。		消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。
			講師の派遣	各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。	各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣した。		各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
33	NTT西日本株式会社高知支店	2	特殊詐欺啓発活動(ナツボラ)	特殊詐欺(SNS型投資・ロマンス詐欺)の啓発活動(主催)高知県ボランティア・NPOセンター	令和7年7月30日実施 ひろめ市場周辺で特殊詐欺被害ゼロ啓発資料やうちわ、タオルハンカチ等を配布し、SNS型投資・ロマンス詐欺といった特殊詐欺の啓発活動を高知県警察本部生活安全企画課等と連携し実施。	学生ボランティア主導型により通行人が興味を持って話を聞いてくれるものの、来客の現状からターゲット層(高齢者等)にチラシが届きにくい。多くのターゲット層へ配布できる場所の検討。	昨年に引き続き、県本部生活安全企画課より啓発活動の要請があった場合は、NTT西日本株式会社高知支店としても積極的に参加するとともに、昨年参加した感想を事務局へ意見提起することとしたい。
			防犯・交通・安全・防災啓発活動	特殊詐欺被害防止や防災に向けた啓発活動	令和7年10月19日実施 全国地域安全運動期間中に県民や観光客が安全で安心して過ごせる地域づくりを推進するイベントにおいて、特殊詐欺被害防止に有効な電話サービス(国際電話不取扱いサービス)の紹介及びチラシ(特殊詐欺対策無償化サポート)を配布。 また、災害用伝言ダイヤル等の紹介展示を実施。	チラシ配布が実際の被害減少にどの程度寄与したかを定量的に把握しにくい。 時間帯によっては、接触数に偏りがある。	昨年に引き続き、県本部生活安全企画課より啓発活動の要請があった場合は、NTT西日本株式会社高知支店としても積極的に参加するとともに、昨年参加した感想を事務局へ意見提起することとしたい。
34	株式会社高知銀行 [74店舗]	1	地域の子供たちを、事故や事件から守る	「こども110ばんのぎんこう」のアピールを各支店へ指示して、公に広める活動をする。	営業店に「こども110番のぎんこう」シールを貼付し、こどもの見守り活動を行う。	活動時間が営業時間に限られ、下校時の対応が難しい。	朝会等の会議で、全行員に対して、地域の見守り活動の意識統一を行う。
		2	特殊詐欺やSNS形投資・ロマンス詐欺からの被害防止	ATM・窓口で特殊詐欺について注意喚起を行う。	送金の際、ATMの画面に詐欺ではないか注意喚起の表示をする。 また、窓口で高齢者等の多額の振込には、詐欺ではないか等の聞き取りを行う。	窓口に来店されるお客さまには気配りできるが、ATMご利用のお客様には気が回せない時がある。	ATMを定期的に巡回して、特殊詐欺等の注意喚起を実施する。
35	四国電力(株) 高知支店	1	地域見守り活動	地域の子どもや高齢者などで、困っている人や危険が迫っている人がいれば、声掛けや支援を行う。 地域の子どもや高齢者などで、困っている人や危険が迫っている人がいれば、声掛けや支援を行う。	高齢者が路上でカバンの中身を地面に出して探し物をしている様子で困っていたため「何かお困りごとですか?」と声掛けし対応した。(タクシーを呼びたいのに携帯電話を自宅に忘れてきたものと判り、代わりにタクシーを手配した。) 県道を四輪で走行中、横断歩道がない道路脇で左右を確認する高齢者を発見したため、手前で車を停車させ、対向車線の車が停止するのを待った。	取組に対する従業員の更なる意識浸透	地域の子どもや高齢者などで、困っている人や危険が迫っている人がいれば、声掛けや支援を行う。
		4	従業員への啓発	従業員への啓発を図るため安心安全まちづくり会報誌の掲載・周知する。	定期的に送付される会報誌を従業員へ周知した。	取組に対する従業員の更なる意識浸透	従業員への啓発を図るため安心安全まちづくり会報誌の掲載・周知する。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
36	一般社団法人 高知県産業廃棄物協会	3	自主行動の強化 ○自助・共助活動 ○広報、啓発活動	①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ②事業所内へのポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。	①事業所はもとより、私宅を含めて「鍵かけの励行」等安全施策を講じた。 ②啓発ポスターを事業所内の目立つところに掲示した。	特になし	①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ②事業所内へのポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。
			事業計画の樹立	①各会議等で、この会議の取組等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布等を継続して行う。	①理事会等において、この会議の取組等の説明を行った。 ②正面出入口に「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」を掲示した。 ③会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」をHPに掲載した。	特になし	①各会議等で、この会議の取組等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等のHPへの掲載を継続して行う。
		4	推進会議からの要請、事務連絡に対する適切な対応	①会報「安全安心まちづくりだより」、広報紙「安全安心まちづくりニュース」は、会員へ迅速に周知するため、当協会HPに掲載する。 ②高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡は迅速に会員事業所へ通知すると同時に、要請事項に対して、誠実に実行する。	会報「安全安心まちづくりだより」及び広報紙「安全安心まちづくりニュース」を次のとおり、当協会HPに掲載した。 ・「安全安心まちづくりだより」 (令和7年度第1号)HP掲載6/10 (令和7年度第2号)HP掲載11/10 (令和7年度第3号)HP掲載12/24 (令和7年度第4号)HP掲載2/25 ・「安全安心まちづくりニュース」 (令和7年度第1号)HP掲載9/26 (令和7年度第2号)HP掲載9/29 (令和7年度第3号)HP掲載11/21 (令和7年度第4号)HP掲載1/16	特になし	①会報「安全安心まちづくりだより」、広報紙「安全安心まちづくりニュース」は、会員へ迅速に周知するため、当協会HPに掲載する。 ②高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡は迅速に会員事業所へ通知すると同時に、要請事項に対して、誠実に実行する。
37	高知県自転車二輪車商協同組合	1	自転車整備の大切さ	交通安全ひろばへの参加	毎年、秋に中央公園で開催されている、高知市が主催の催しに参加して、自転車利用者からの点検依頼を受け、整備の大切さやアドバイスを実施。		交通安全ひろばへの参加予定
			組合員に対する勉強会	組合店向けの令和8年4月1日からの軽車両の道路交通法改正に関する勉強会	高知署の交通課に依頼をし、知っているようで知らなかったり、勘違いしているような交通ルールもあるのでは？と思い、自転車利用者やお客さんにアドバイスや注意をしてあげることが出来ればと開催した。	平日の開催は、店の営業もあつたり組合店も東は室戸、西は宿毛と遠いので参加者も少な目。もう少し関心をとと思った。	なんらかの形で、今後も勉強会を継続
38	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 ペンディング西 四国支店	4	自治体・団体への災害支援の提案	自販機の機能を活かした、市民への行政情報提供及び災害支援対策への対応	行政関係での自販機については災害対応自動販売機を設置	通常自動販売機と比較してコストがかかる	自販機の機能を活かした、市民への行政情報提供及び災害支援対策への対応
			自治体・団体への市民サービス支援の提案	地域のスポーツ・まちづくり・環境・イベント・観光・福祉・青い羽根・赤い羽根・企業支援等（募金箱）	よさこい祭り支援機やオレンジリボン支援機の設置	新たな展開（拡大）に苦戦	地域のスポーツ・まちづくり・環境・イベント・観光・福祉・青い羽根・赤い羽根・企業支援等（募金箱）

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
39	株式会社四国銀行 【高知県内63店舗】	2	特殊詐欺の防止	①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで特殊詐欺被害防止を行う ②ATMコーナーには、犯罪被害防止のチラシ等を設置	①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで特殊詐欺被害防止を行った ②お客さまの目に留めるところに、犯罪被害防止のチラシ等を設置 ③AI画像分析を活用した特殊詐欺検知システムの実証実験	①特殊詐欺の巧妙化 ②SNS等での個人間でのやり取りかつ、インターネットバンキングを利用した振込等、声掛け等では対応できない詐欺の被害防止	令和7年度と同様に、窓口、ATMコーナーでの特殊詐欺被害等の防止
40	リコージャパン株式会社 高知支社	1	地域で子どもや高齢者を事件・事故から守ろう	・「こども110番のくるま」活動への登録、ステッカーの社有車貼付け、目的を理解して活動する ・業務中(社有車運転中など)に、こどもや高齢者が事件・事故にあわないよう、見守る	・「こども110番の車」ステッカーの申込は出来なかったが、夏休みや春・冬休みの期間中などは特に自身の安全運転に集中すると共に、子供の動きに注意し事故が発生しないよう社員に呼び掛けた。 ・通学中の子供達や近所を散歩中の高齢者が事件・事故にあわないように見守るよう社員に呼び掛けた。	・申請書の作成と提出申請書はダウンロードしたが、車両が多く申請範囲決めに時間を要した。 次年度は手続き出来るよう支社内で協議する。	高知支社内の営業車両へ「こども110番の車」ステッカーを4月申込にて貼付けを行い、目的を理解して活動する ・事務所周辺の高齢者や通学する子供が事故や事件にあわないよう見守る
		2	特殊詐欺などの被害を防ごう	・安全安心まちづくりの防犯ポスターを、事務所出入口周辺へ掲示し、防犯意識を高める ・展示イベントで防災セミナーを開催したり、セキュリティ対策商品をご紹介して、防犯・防災に取り組む	・配布いただいた防犯ポスターを、事務所出入口周辺へ掲示し、防犯意識を高めた。 ・展示イベントでセキュリティ対策セミナーを開催し、セキュリティ対策商品を展示・ご紹介・ご提案し、防犯・防災に取り組んだ。	・取扱い商品が多く、セキュリティ対策商品をお客様へ提案する機会が少なかった。	・安全安心まちづくりの防犯ポスターを、社員出入口周辺へ掲示し、防犯意識を高める ・セキュリティ対策商品の展示イベント回数を増やし、関連セミナーやセキュリティ対策商品をお客様へご紹介・ご提案して、防犯・防災に取り組む
		3 4	鍵かけ運動や広報活動	・自社内や自宅に限らず、鍵かけを徹底するよう周知する ・鍵かけ啓発ポスターを掲示し、防犯意識を高める ・「安全安心まちづくり」通信を社内発信し、活動内容を広く周知し、防犯や防災意識を高める	・自社内の鍵かけを徹底し退館チェックリストで管理。 ・配布いただいたポスターを支社内に掲示し、防犯意識を高めた。 ・「安全安心まちづくり」通信を社内転送し、活動内容を広く周知し、防犯や防災意識を高めた。	・ポスター掲示して防犯呼び掛けしたが、ポスターに込めた思いなどの配布物があれば、更に案内しやすい。	・自社内や自宅の玄関や窓の鍵かけを徹底するよう社員に周知する ・啓発ポスターを掲示し、防犯意識を高める ・「安全安心まちづくり」通信を社内全体へ発信し、活動内容を広く周知し、防犯や防災意識を高める
41	一般社団法人 高知県建設業協会	1	地域見守り活動の実施(嶺北支部)	毎月20日前後に青色回転灯装備車両によるパトロール	・青色回転灯装備車両によるパトロール ・会員による出社・退社時の見守り	・会員、児童の減少 ・過疎化	毎月20日前後に青色回転灯装備車両によるパトロール
			地域見守り活動の実施(高知支部)	年4回(6月・9月・12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する	6月・9月・12月・3月に中心街地区で、高知警察署にも協力いただき、防犯パトロールを実施した		年4回(6月・9月・12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する
			地域安全活動の一環で児童見守りを実施(伊野支部)	朝の登校時、児童見守りを地元の警察、学校、PTA、近隣の住民と連携して行う。地区ごとに当番制にして団体の会員全員が参加する	8月を除く毎月第3木曜日の朝、児童の登校時(7時～8時頃)に近隣の小学校通学路、横断歩道などで児童の安全を見守る活動を実施	年間の当番表に基づき、なるべく負担を少なく継続して行う	朝の登校時、児童見守りを地元の警察、学校、PTA、近隣の住民と連携して行う。地区ごとに当番制にして団体の会員全員が参加する
			地域防犯活動年末安全パトロール(伊野支部)	年末の商店街、繁華街、通学路を徒歩で巡回。防犯ののぼりを持ち、放課後及び冬休み前の児童、生徒等へ夜間の防犯を呼びかける。また、地域住民にも呼びかけを行い、犯罪のない街づくりを目指す	令和7年12月18日、いの町で実施。通学路等を1時間ほど徒歩にて巡回。年末の防犯を呼びかけた。(会員9名と、県の職員さん1名で巡回)	管内の山間部では繁華街が無いことから、人数が集約している町で実施	年末の商店街、繁華街、通学路を徒歩で巡回。防犯ののぼりを持ち、放課後及び冬休み前の児童、生徒等へ夜間の防犯を呼びかける。また、地域住民にも呼びかけを行い、犯罪のない街づくりを目指す

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
42	NPO法人 高知県防犯設備協会	1	防犯パトロール	①団体パトロール(防犯診断) ②会員個々によるパトロール、子ども見守り	①4月12日(土)秦泉寺公園防犯診断実施 高知市みどり課協力、地元センター及び地域役員様愛護会様ご協力のもと、実施 市みどり課へ結果報告提出、改善、確認(警察庁大綱の基準を元)腕章等活用 ②ミタニ建設(株)、朝倉地区子ども見守り、青色パトにてパトロール、秦地区見守りパトロール		①団体パトロール(防犯診断) ②会員個々によるパトロール、子ども見守り
				③ながら見守り(高知県警察本部協力)	③全会員キーホルダー配布、各企業において買い物、仕事行き帰り、散歩途中等ながら見守り実施		③ながら見守り(高知県警察本部協力)
		4	子ども見守りの一環	学童防犯ブザーの点検	・令和4、5、6年とコロナ禍で中止を余儀なくしたが、7年度計画をいくつかの小学校に提案したが、本年は色々他の問題があり、どちらの校も見送るとの返事		学童防犯ブザーの点検 (了解があれば、点検の実績あり。秋には実施可能)
			イベントへの参加	・防犯設備(鍵やシステム)の展示、説明 ・防犯相談コーナー ・パンフレット配布	・チラシの作成、(公)日本防犯設備協会よりの資料の配付(イオンモール高知にて) ・防犯相談コーナー開設、機器展示	・もう少し興味を抱くような対策が必要	・防犯設備(鍵やシステム)の展示、説明 ・防犯相談コーナー ・パンフレット配布
			防犯講演会	・防犯講演 セキュリティシステム カメラ 特殊詐欺被害防止 個々の安全対策など	・高知県警本部主催 高知県防犯設備協会の活動と防犯設備士、防犯カメラ設備について実施	・次は防犯設備士、総合防犯設備士の認知度上げへ	・県下官公庁、関係団体へ資格制度や活動について説明会を実施
			県内関係機関へ犯罪抑止活動	高知県警察本部及び各警察署へ当協会パンフレット、防犯設備士受験案内、CCUSでの認定資料を配布	高知県警察本部及び各警察署へ当協会パンフレット、防犯設備士受験案内、CCUSでの認定資料配布	・警察署の配布資料が多いので、関係団体へ直接配布を検討	高知県警察本部及び各警察署へ当協会パンフレット、防犯設備士受験案内、CCUSでの認定資料を配布
43	セキスイハイム東四国株式会社	1 4	②防犯を意識した常夜灯の設置提案・オートロック提案	自社分譲地内の建築について夜間防犯の為の常夜灯の設置の外構計画を提案	自社分譲地にて夜間の点灯をガイドライン化、建売物件にて常夜灯を設置	防犯の為の夜間点灯に理解いただき、自発的に継続いただく事	自社分譲地での展開継続 夜間点灯のガイドライン理解 自社分譲地外以外での夜間灯の設置提案
		2	①特殊詐欺防止チラシ配布(オーナー向けの書類に同封)	特殊詐欺防止チラシ配布	特殊詐欺防止チラシ配布継続		チラシ配布継続、展示場、事務所等での掲示
44	ダイドー・タケナカベンディング株式会社	2	特殊詐欺撲滅支援ベンダー(自動販売機)の設置、推進	特殊詐欺の手口も増えてきているので、県警のアナウンスと共に、引き続き「特殊詐欺撲滅支援ベンダー」の認知度向上と設置を推進する。	特殊詐欺撲滅支援ベンダーの新規設置は0台に終わった。	消費者の自販機離れにより新規設置が見込めない	CSR経営ではなく、CSV経営の一環としてこの事業を推進していることをPRしていく。
45	株式会社ほっかほっかフーズ	1 2 3	お弁当包装紙のデザイン活用	令和7年度の受賞ポスターに内容を変更し継続して取り組む。	高知県内約25店舗で、お弁当包装紙のデザインを防犯ポスターとコラボしお客様へ提供した。		各年度の受賞ポスターに内容を変更し継続して取り組む。
		1	子ども110ばんの家としての継続活動	「子ども110ばんの家」ステッカーを店舗へ掲示し、継続した活動を行う。	高知県内40店舗のほっかほっか亭に、安全シェルターのステッカーを掲示した。		「子ども110ばんの家」ステッカーを店舗へ掲示し、継続した活動を行う。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
46	あいおいニッセイ同和損害保険(株)高知支店	1	通学路の点検	毎月第3木曜日に会社事務所および昭和小学校付近の見回り	同左	特に高校生の自転車の運転スピードが早く、危ない	継続実施
47	損害保険ジャパン株式会社高知支店		黄色いワッペン贈呈事業	■2025年度も継続して当社の「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈 ■環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑剤を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ■2025年度 スローガン:「青だけど 自分の目でみて たしかめて」のポスター掲示	本事業は警察庁・全日本交通安全協会・全国連合小学校長会などの協力のもと、当社は1966年(昭和41年)から本事業に参画。交通安全の啓発と交通事故防止を目的に高知県下の新小学一年生に「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈。子どもたちに「黄色いワッペン」をつけてもらうことで、交通安全をよびかけ、保護者やドライバーの方々の注意を喚起。 高知市の新1年生2,106人に贈呈。交通安全を呼びかけた。	継続実施	■令和8年度も継続して当社の「交通事故傷害保険」付帯の黄色いワッペンを贈呈 ■環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑剤を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ■2026年度 スローガン「おまじない 自分を守る みぎひだり」
		1	「安心で安全なクルマのある」くらしの提供と「安心して運転でき、事故が起こらない」社会づくり	■社員・当社委託代理店向けに、高知県におけるドライブレコーダー市場の現状および必要性を周知 ■法人向け「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート ■高知県警交通安全イベント(2025年9月)へ参加し、交通事故防止・安全確認を強く呼びかけていく	■当社サービス「通信機能付きドライブレコーダー(スマイリングロード)」を法人のお客さまへ提案。ドライブレコーダーを活用した事業者向け事故防止サービスを展開。 ■第33回交通安全ひろば(9月)、令和7年度防災啓発イベント「安心安全まちづくりのひろば」(10月)へ参加。VRIによる交通事故シミュレーション体験、交通安全クイズ(交通ジャパンド〜きけんをさがせ!〜)を実施。	継続実施	■安全運転管理者協会、高知県警とともにアーケード内での交通安全啓発活動に参加(2026/4/15参加) ■防犯イベントへの積極的参加と安全運転・事故防止の働きかけ ■当社サービス「スマイリングロード(通信機能付きドライブレコーダー)」の展開により事故防止・安全運転の働きかけ
		1 2	「保険金請求詐欺」に対する啓発活動の実施	■保険金に関する悪質業者(特定修理業者)による被害防止を目的とし、当社委託代理店と連携した啓発活動を強化 ■高齢者を含む被害に遭いやすい層への注意喚起を重点的に行い、特に広域災害発生後は注意が必要であることを周知徹底していく	■令和7年7月30日(水)中央公園北口にて、当社委託代理店と連携し、「保険金請求詐欺に関する悪質業者による被害防止を目的に啓発活動を実施。台風被害が多くなる7月の時期に合わせ、高齢者を中心に注意喚起を実施。 ■店頭・1階入り口へ高知県安全安心まちづくり推進会議作成の防犯ポスターを掲示。	街頭における啓発活動は天候により左右される点、歩行者の反応に差がある	■保険金に関する悪質業者(特定修理業者)による被害防止・啓発活動 ■高齢者を含む被害に遭いやすい層への注意喚起 ■広域災害発生後は特に注意が必要であることを周知徹底
		4	・社内無事故・無違反強化運動の実施(年2回) ・アルコールチェック体制の厳格化	■6月1日～8月31日の期間において無事故・無違反運動を実施 ■11月1日～1月31日の期間において飲酒運転絶滅運動を実施 ■業務中に限らずマイカー通勤者も含め運転前および運転後のアルコールチェックを実施し、チェック後の報告を義務化 ■高知安全運転管理者協議会が実施する「飲酒運転撲滅キャンペーン」に賛同	■無事故・無違反運動、飲酒運転絶滅運動を実施 ■運転前、運転後のアルコールチェック報告を徹底 ■全車に通信機能付きドラレコを設置。インカメラによる「居眠り」「わき見運転」検知を備えることにより運転者の安全運転意識向上へつなげている。	継続実施	■無事故・無違反運動、飲酒運転絶滅運動の実施と周知徹底 ■運転前、運転後のアルコールチェック報告の義務化 ■高知支店所有全ての社有車にドラレコ設置による安全運転意識向上 ■全国交通安全運動および自転車運転のルールの厳格化を高知支店内チャットで全職員へ周知徹底

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
48	全国共済農業協同組合連合会高知県本部	1	JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催	県内2カ所で開催	「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝えた。小さなお子さまに人気のJA共済イメージキャラクターアンパンマンたちといっしょに交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供した。 ・JA高知県共済事業本部 ・JA高知県高西地区	・天候に左右される ・アプローチ方法	JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催
			自転車交通安全教室の開催	県内2カ所で開催	中学校や高等学校への交通事故対策活動として、警察などと連携したスクエアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室を実施した。生徒の前でスタントマンが交通事故を実演し、危険性を疑似体験させることで、交通安全意識を醸成した。 ・青柳中学校・高知商業高校	・天候に左右される ・敷地の確保 ・年齢条件の考慮	自転車交通安全教室の開催
			自動車シミュレーター搭載車「すまいる号」による安全運転診断	県内1カ所で開催	自転車シミュレーターを搭載した自転車安全運転診断車「すまいる号」で、巡回型の自転車の安全運転診断を行った。約5～10分程度の体験で自転車乗用中の交通ルールや危険予測を実践的に学習できます。 ・戸波中学校	・行列ができた場合の対処方法	自動車シミュレーター搭載車「すまいる号」による安全運転診断
			シルバー世代向け交通安全教室の開催	県内2カ所で開催	高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、誰でも楽しく参加できる。 ・高齢者交通安全フェスタ(高知県警察本部)	・同じ落語家の場合、同内容となるため、スケジュール調整における選出が難しい。	シルバー世代向け交通安全教室の開催
		4	介助犬教室の開催	県内4カ所で開催	交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んだ。社会福祉法人 日本介助犬協会の事業の支援や、NPO法人 日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ! 介助犬! JA共済はたらくワンワンランド!」を開催した。 ・三和小学校・高知ろう学校	・介助犬ユーザーとのスケジュール調整	介助犬教室の開催
			ザブトン教授の防災教室	県内1カ所で開催	東日本大震災や熊本地震など過去の地震の揺れを再現できる地震動体験装置「地震ザブトン」を活用し、体感することで、備えることの大切さを学んでいただくプログラムである。イス型の地震動体験装置「地震ザブトン」+映像(13歳以上はVR可能)による揺れ体験と、レクチャーでの学びにより、防災知識を深めることができた。 ・池川小学校	・スケジュール調整	ザブトン教授の防災教室

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
49	株式会社ローソン高知加盟店137店	2	特殊詐欺防止への取組み	弊社が実施するオーナーエリア会開催にて、参加を呼びかけ、被害防止の啓発を実施。(年1回開催予定)	毎月実施のオーナーエリア会にて、特殊詐欺の防止事例や最近の犯罪行為例など共有した。また令和8年1月28日、高知県警察本部、地域安全対策係長に、弊社オーナーエリア会にご参加いただき、講和をいただいた。	全員の参加でない為、情報共有が不十分。また店舗の従業員は時間帯によって意識の差が生じている。	特殊詐欺防止において
		24					○強盗ならびに特殊詐欺防犯訓練 夜間の防犯訓練を年1回実施することを検討します。(実施店1店舗)
50	セコム高知株式会社	1	青パト用車両での防犯パトロール	月2回を基本として、青色回転灯をつけた車両で、市内の各学校近辺で下校時間帯を主とした防犯パトロールを実施。	令和7年度は計21回の防犯パトロールを実施。主に市内の保育園・小中学校を巡回した。パトロール中、特に事件・事故等に遭遇することはなかった。	下校時刻等に合わせられない場合がある。	月2回を基本として、青色回転灯をつけた車両で、市内の各学校近辺で下校時間帯を主とした防犯パトロールを実施。
			こども110番の家	「子ども110番の家」のステッカーを事業所(蒔絵台の事業所)に貼付済み。子どもへの防犯を意識し地域全体の安全に貢献する。	本年については特に訪問や相談事はなかった。	社員不在の日時が発生することがある。	「子ども110番の家」のステッカーを事業所(蒔絵台の事業所)に貼付済み。子どもへの防犯を意識し地域全体の安全に貢献する。
		2	特殊詐欺の防止	ATMでの補填業務対応時、通話をしながらATM操作をしているご利用客がいれば、耳を傾け、不審な言動などの兆候があればお声がけをして、ATM操作を中断していただく等の対応を行い、特殊詐欺の未然防止を図る。	ご利用客様への簡易な手助け等はあったが、事件性のある事案遭遇はなかった。		ATMでの補填業務対応時、通話をしながらATM操作をしているご利用客がいれば、耳を傾け、不審な言動などの兆候があればお声がけをして、ATM操作を中断していただく等の対応を行い、特殊詐欺の未然防止を図る。
51	株式会社フジ高知エリア運営部(8団体・約450名)	123	「安心安全 まちづくり」	地域の行政と弁護士の参画で、生活者のお悩み相談会を実施し、地域の方々他、多数の方が相談会場に来場。	10月には「安全安心まちづくり」をテーマとした啓発イベントを開催し、地域安全や防犯の分野に関する意識の向上、具体的取組の推進を図った。	開催時間	弁護士会連携による共同開催
		2	「ATM詐欺防止キャンペーン」	『特殊詐欺防止のチラシ配布』を実施予定	年末に実施	特になし	警察連携によるチラシ配布などによる注意喚起

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
52	株式会社 ダスキン 中国・四国地域本部	1	子供見守り活動	これまでの取組計画の内容(事業用車両に「地域見守り隊」ステッカーを貼付し、子供の見守り活動を推進する等)を継続すると共に、令和6年度の取組実績の課題となった高知県警察本部等からのタイムリーな情報提供について、弊社からも積極的に情報収集を行い、収集した情報に基づいた実効ある子ども見守り活動を推進する。	事業用車両に「地域見守り隊」のステッカーを貼付し、営業活動を通じて、地域の子ども見守り活動を行った。特に、下校時間帯は、可能な限り通学路及び周辺部での営業活動にシフトし見守り活動を強化した。	下校時間帯と一般世帯へのレンタル品配達活動等の時間が重複することが多いため、ピンポイントでの下校中児童の見守り活動が困難	①引き続き、事業用車両に「地域見守り隊ステッカー」を貼付し、子供の見守り活動を推進する。 ②下校時間帯における営業計画を通学路周辺世帯にシフトする等して、通学路及びその周辺の子ども見守り活動を推進する。
		2	特殊詐欺等防止活動	特殊詐欺被害防止床マットを活用した特殊詐欺被害防止活動を継続するとともに、高知県警察本部から配信される防犯情報をお客様に伝達し、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺未然防止に対する啓発活動等を推進する。また、特殊詐欺防止「床マット」の設置箇所拡大に向けた販売促進活動を推進する。	家庭用モップ等のレンタル業務を通じて、お客様の各家庭を訪問し、事件事故の未然防止等のチラシを配付する啓発活動を行い、高齢独居者に対する直接声かけをしながら、要望等の意見を汲み上げる活動も行った。	特殊詐欺被害防止「床マット」のレンタル契約が頭打ちとなっており、新規顧客(未契約金融機関等への被害防止啓発協力依頼)が困難	①新規顧客(金融機関等)に対する特殊詐欺被害防止床マットの提案活動を活性化し同マットを活用した特殊詐欺被害防止活動を引き続き推進する。 ②引き続き、高知県警察本部から配信される防犯情報を顧客に伝達し、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺未然防止に対する啓発活動等を推進する。
		1 2 3	高齢者など見守り活動及び鍵かけ運動の推進	これまでの取組計画の内容を継続し、高知県警察本部等から事件事故防止対策に関するタイムリーな情報提供を受け、高齢のお客様が在宅している時間帯に積極的に訪問を行い、事故や事件防止、鍵かけの励行に関する啓発・注意喚起活動を活性化し、高齢者に対する地域見守り活動を推進する。また、高齢のお客様に限らず、すべてのお客様に対して前記の啓発・注意喚起活動を積極的に推進する。	高知県警察本部から配信された特殊詐欺被害状況及び防止対策等の情報をお客様にタイムリーに伝達する活動、無施錠世帯に対する注意喚起を行った。	高齢世帯も日中、通院や趣味等で不在となる場合が多く、高齢世帯のみにシフトした営業活動が困難な面もあり、直接、声掛け活動を行うことができない場合も多々ある。	①引き続き、高知県警察本部等から特殊詐欺被害防止、その他事件事故防止、鍵かけ等の防犯対策に関するタイムリーな情報提供を受け、高齢世帯の顧客にフィードバックする。そのために、高齢の顧客が在宅している時間を把握し、効果的な活動を推進する。 ②また、高齢の顧客に限らず、すべての顧客に対して前記の啓発・注意喚起活動を積極的に推進する。
		4	地域美化活動	弊社の創業以来の環境スローガンである「身近に、未来にエコの種まき」に基づき、各地域本部エリア及び各加盟店単位における地域での美化活動を引き続き推進する。	地域美化が「犯罪の起きにくい環境づくり」に貢献することを認識し、計画的かつ定期的に、各加盟店の周辺地域及び同店舗付近に所在する公園などのゴミ拾い活動を行った。	美化活動のエリアが限定される。活動の趣旨である「美化活動を通じた犯罪の起きにくいまちづくり」が周知されにくい。	①弊社の創業以来の環境スローガンである「身近に、未来にエコの種まき」に基づき、各地域本部エリア及び各加盟店単位における地域での美化活動を引き続き推進する。 ②地域美化が「犯罪の起きにくい地域環境づくり」に貢献することを、活動を通じて地域住民にアピールする。
53	ミタニ建設工業(株)	1	パトロールや情報共有の実施	会社周辺の通学路における見守り活動の実施	高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校他)における児童等の見守り活動を実施した。街頭指導並びに青色パトロール車による巡回(毎月1日、10日、20日、25日)	慣れによる活動意欲の低下	高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校他)7における児童の見守り活動の実施、街頭指導並びに青色パトロール車による巡回(月4回(1日、10日、20日、25日))

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容 計画(P)	実績(D)	課題(C)	令和8年度に行う予定の取組(A)
54	高知ヤクルト販売株式会社 社員・ヤクルトスタッフ 約200名	1	地域見守り活動の継続実施	お届け時に担当地域を回る中で何か変化(いつもと違うこと)があれば会社、民生委員に連絡をする。	お届け時に腕章をつけ、地域を回った。 ヤクルトスタッフが地域の方を助け家族の方から感謝の言葉をいただいた。	全員が腕章をつけていない。 意識に個人差がある。 事例の共有が十分にできていない	お届け時に担当地域を回る中で何か変化(いつもと違うこと)があれば会社、民生委員に連絡をする。
		3	特殊詐欺被害防止協力	南国警察署と連携し南国市、香南市、香美市のお客様に特殊詐欺被害防止のチラシを配布	南国市、香南市、香美市を担当するヤクルトスタッフに期間中約3,000軒にチラシを配布、特殊詐欺被害防止を伝えて回った。	期間内にチラシを配布できない所もあった。	高知県警と包括連携協定を締結。特殊詐欺被害と交通安全に関するチラシを年2回県警と作成しお客様に配布する。
55	一般社団法人高知県ハイヤー協会	1	会報等で注意喚起	県警などとの協定に基づき、業務中に得られた事件事故情報について、乗務員等に対して注意喚起を実施する。	県警、市町村、税関等との協定により全乗務員等に注意連絡。交通安全運動に参加。		県警などとの協定に基づき、業務中に得られた事件事故情報について、乗務員等に対して注意喚起を実施する。
		2	各事業所に対する犯罪情報等の情報共有	業務中に連絡を受けた内容(特殊詐欺被害状況や行方不明事案など)を確認し、事業所へ注意喚起を実施。 事業所に対して事案認知時の通報依頼を実施。	県警よりの要請に基づき、行方不明認知症老人の確認。 特殊詐欺に関する情報に基づき、全乗務員に注意喚起。 各事業所に対して事案認知時には通報依頼を実施。		業務中に連絡を受けた内容(特殊詐欺被害状況や行方不明事案など)を確認し、事業所へ注意喚起を実施。 事業所に対して事案認知時の通報依頼を実施。
56	ヤマト運輸株式会社 高知主管支店	1	集配時の高齢への声掛け見守り支援	黒潮町役場の地域包括支援担当者様との連携体制構築を行った。山間地域での高齢者見守り地域の見守り活動	・黒潮町役場の地域包括支援担当者様と見守り活動について具体的な話し合いを進めて、地域の中で支援が必要な世帯や子どもの安全などの異変にいち早く気づき、素早い対応できるように、ドライバー集配携帯で黒潮町役場の地域包括支援担当者様にご連絡できるフローを確立した。 ・黒潮町役場で見守りマグネットを作成し弊社の集配車両に貼って地域を集配している。		交通空白地域の対策やスクールバス運転手の高齢化やお買い物等でお困りごとに協力をしていく。
			四万十町と包括連携	安全・安心な地域づくりに関すること(地域で子どもや高齢者などを事故や事件から守る)	・地域の見守り(町民の方すべて)、不審者や不審車両など発見時に提携連絡先への報告 ・道路損傷等や廃棄物等不法投棄物を発見した場合に提携連絡先への報告 ・町民からの意見やお困りごとを聞いた場合などに提携連絡先への報告		交通空白地域の対策やスクールバス運転手の高齢化やお買い物等でお困りごとに協力をしていく。
57	有限会社四国浄管	4	清掃、緑化などのボランティア活動	月1回の清掃活動 弊社、円行寺営業所周辺(県道270号周辺) 道路沿いの草刈り、ゴミ拾い、側溝の掃除(落ち葉や土砂の除去)	毎月末の土曜日の午前7時～7時30分の間に計画通り清掃活動を行った。	社員15名程度で行っているが、地域の方にも参加いただき、久万川周辺の環境を地域の皆様とより良くしていきたい。	月1回の清掃活動 弊社、円行寺営業所周辺(県道270号周辺) 道路沿いの草刈り、ゴミ拾い、側溝の掃除(落ち葉や土砂の除去)
58	富国生命保険相互会社 高知支社	2	特殊詐欺防止活動への参加	ポケットティッシュ、特殊詐欺防止のチラシ、うちわを県警と共同で配布	ポケットティッシュ、特殊詐欺防止のチラシ、うちわを県警と共同で、高齢者を含む歩行中の方に対して約2000個配布	継続して参加する必要がある。	令和7年に引き続きポケットティッシュ、特殊詐欺防止のチラシ、うちわを県警と共同で配布予定。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
59	パナソニック マーケティング ジャパン株式会社 エリア社 西日本支社		高知県県民生活課との連携	高知県県民生活課との連携	日:25年10月19日 会場:イオンモール高知 1階南コート 内容:防犯機能搭載の電話機やドアホンを展示し実際に体感頂く事で防犯意識の向上を図る ※防犯啓発チラシ300枚を配布	過去のイベントに比べて来場数が少なかった	要調整(高知県県民生活課との連携)
		2	高知県警との連携	高知県警との連携 ・パナソニック電話機の貸し出しの継続(各地域ごとでの実演講習などで活用中 17台) ・高知県警からの特殊詐欺情報の共有→都度発信いただいている特殊詐欺情報を取り纏め当社社員に情報共有	・パナソニック電話機の貸し出しの継続(各地域ごとでの実演講習などで活用中 17台) ・高知県警からの特殊詐欺情報の共有	成果の見える化	継続(高知県警との連携)
		4	エリアマーケティング活動	・エリアセレクト→県別営業体制を活かし、地域課題商品を推進	①県別単位で商品をセレクト ②タッチ&トライ(ブランディング活動) ③得意先、パナソニックストアへの誘導 山口県、広島県→防犯カメラ、ドアホン(得意先を巻き込み防犯活動の推進) 岡山県、愛媛県、高知県→電子レンジ(各地域特産物を使った実演体験) 香川県、徳島県→ジアイーノ(体感イベント中心に認知度アップを図る)	一定の成果あり	要検討(エリアセレクト→県別営業体制を活かし、地域課題商品を推進)
60	株式会社エフエム高知	1	防犯ブザープレゼントキャンペーンの実施	令和7年4月に入学する高知県下の新小学一年生全員に防犯ブザーを寄贈。併せて自社放送のスポットCM等にて子供たちを犯罪から守る啓発を実施。	新小学一年生約4,900名に防犯ブザーを寄贈。併せて3月から5月の3ヶ月間にわたり、スポットCMを大量放送。	特になし	本年同様、令和8年4月に入学する高知県下の新小学一年生全員への防犯ブザー寄贈と自社放送にて子供への犯罪防止の啓発活動を実施予定。
		2	STOP!詐欺被害キャンペーンの実施	当初はなし。	1月から3月の3ヶ月間に亘り、多発する詐欺の事例等を盛り込んだスポットCMを放送。併せて2月には全4回、高知県警察本部生活安全企画課の方に番組に出演いただき、詐欺の事例から対処法などをお話いただいた。	特になし	現在のところ未定。
61	生命保険協会 高知県協会 ・構成団体数 18団体 ・構成員 約1700名 (令和8年3月1日 現在)	2	特殊詐欺被害防止チラシ配布活動+注意喚起の声掛けの実施	特殊詐欺被害防止チラシ2000セットを配布しながら注意喚起を行い特殊詐欺被害を少しでも減少させる。	令和7年12月15日(月)年末年金振込日に合わせて、生命保険協会主催で、県警・財務事務所・暴追センター・高知県庁・高知市役所・防犯協会等のご協力を得て、総勢80名。市内8か所で『特殊詐欺被害防止チラシ』2000セットを配布しながら防止の声掛け活動を実施。マスコミ各社に取り上げていただくことで、県民の方々への防	事前準備が大変なこと。高知市以外にも拡大できないか検討余地あり。	令和8年12月15日(火)年末年金振込日に合わせて、令和7年度と同様の取り組みを行う。
62	電化工事株式会社	1	近隣地域・小学校に設置している防犯ブザーの点検修繕	有事の際に子ども等が防犯ブザーを適切に利用できるよう、機器の点検を行うとともに、故障していれば修理を行う	小学校との日程調整が出来ず、未実施となった。		有事の際に子ども等が防犯ブザーを適切に利用できるよう、機器の点検を行うとともに、故障していれば修理を行う
		4	防犯啓発イベントへの参加	防犯対策の呼びかけ 高知県や高知県警察との連携し、地域への啓発活動を実施	県内のショッピングセンターにおいて、来客者に対して、防犯カメラ機器を展示して、機器の紹介を行ったり、各種防犯対策を説明したりして、啓発を行った。	簡易チラシや販促物の開発	関係機関との連携、防犯対策の啓発を行う。

番号	事業者・団体等名称	重点項目	取組の概要	令和7年度に行った取組内容			令和8年度に行う予定の取組(A)
				計画(P)	実績(D)	課題(C)	
63	株式会社高知通信機	2	自社屋外ビジョンを活用した防犯啓発の実施	高知県警察が制作した防犯啓発動画を、当社所有の屋外ビジョン3か所で放映し、県民に向けた注意喚起を行う計画とした。 屋外ビジョンを地域防犯に資する情報発信媒体として活用し、防犯意識の向上につなげることを目指した。	令和7年度も、高知県警が制作した啓発動画を当社所有の屋外ビジョン3か所で放映し、特殊詐欺や自転車盗難防止について街頭で広く啓発を行った。	今回の啓発は一定の発信機会を確保できた一方で、単発で終わらず、継続的に防犯意識の向上につなげるための発信体制づくりが課題である。	令和8年度も、引き続き当社所有の屋外ビジョン3か所を活用し、防犯啓発を行う予定である。 具体的には、令和7年度「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」入賞作品をビジョンで放映し、県民の防犯意識向上につなげていきたい。